

『富嶽百景』より「海上の不二」

なんという目だ！

— 北斎にはこう見える —

2025年10月11日（土）～12月7日（日）

生涯何万点もの絵を描いたという北斎は、凄まじい描写力の持ち主だ。同時に鋭い「目」の持ち主でもある。北斎が描く動物や植物は、今にも動き出しそうなほどの躍动感と生命力に満ち溢れている。北斎は空に渦巻く雲や、矢のように勢いよく降り注ぐ雨、雲間を一瞬で駆け抜ける雷などをも、自身の目を通して掴み取ることができる絵師だった。

読本挿絵などに見られる爆発によって弾き起きる凄まじい閃光の表現は、モノクロ作品であるものの、思わず目を覆いたくなるような眩しささえ感じさせる。これら作品に見られる狂いのないデッサン力、描写力には驚かされるが、それも北斎のものをとらえる鋭い「目」の賜物だろう。この展覧会であなたもきっと口にしてしまうことだろう。「北斎の目はなんという目だ！」

| 主な展示作品 |

北斎の目には爆発と崩壊がこう見える！



『富嶽百景』より「宝永山出現」

ドカン！ぐらぐら、ガラガラ、ズシン！そんな音や、体を揺さぶる振動さえ感じられそうな本図は、宝永4年（1707）に起きた富士山の噴火に伴う災害を描いたものだ。

一夜にして出来上がった「宝永山」の出現を、あえて山の姿を描かずに、崩壊していく家屋や土煙で表現している。

人間では到底敵わない自然界の大きな力と恐怖を感じさせる作品だ。

北斎の目には風と雲がこう見える！



「富嶽三十六景」より「駿州江戸」

強烈な突風に惑わされる人々。飛ばされまいと人々は身を屈め、強風を受けた木も大きくしなっている。風に飛ばされた懐紙や菅笠が、空高く煽られ小さくなっていく様子が、強い印象を与える一枚。

同じシリーズの波の動きの一瞬をとらえた「神奈川沖浪裏」と並んで、自然界に起こる現象の一瞬の姿を映し取った作品として、海外でも大きな評価を受けている作品である。

| 主な展示作品 |

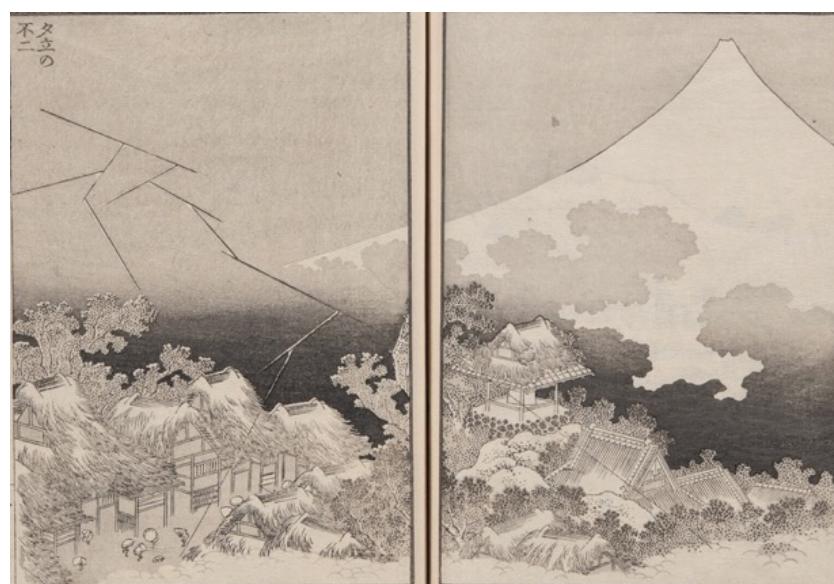
北斎の目には光と影がこう見える！



「富嶽三十六景」より「山下白雨」

暗く雲がかった富士の裾野に、ピカッと走る稻妻を描いた一枚。中腹より上には青空が広がっており、富士がいかに高い山であるかを感じさせる。

北斎は版画作品を初め、版本、肉筆画の中にも一瞬にして鋭い光を放つ稻妻の姿をよく描いた。雷鳴が轟く直前に雲間から放出される電気の筋を、北斎は逃すことなく目に焼き付け、絵に落とし込んだのだ。



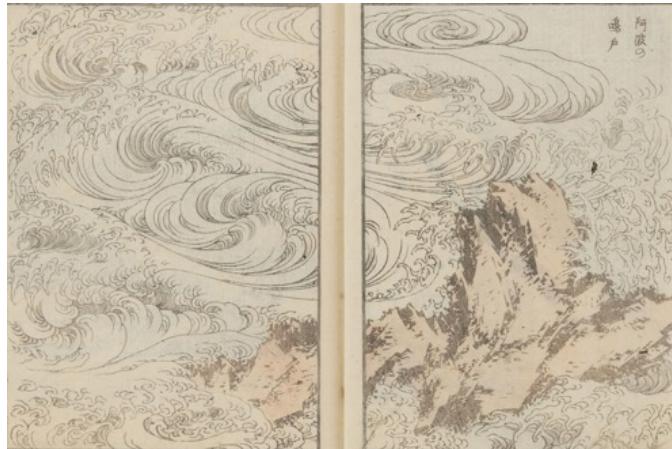
『富嶽百景』より「夕立の不二」

画面右には、大きくそびえ立つ不二の姿。その麓にはもくもくと怪しげな黒雲が湧き立っている。麓の村に吹く風は強くなりはじめ、家屋の茅葺き屋根を揺らしている。

画面左上から伸びる線は、天からの落雷。直線を繋ぎ合わせたような面白い描き方で、一瞬の光の屈折を表現した。

| 主な展示作品 |

北斎の目には水がこう見える！



北斎漫画 七編 阿波の鳴戸

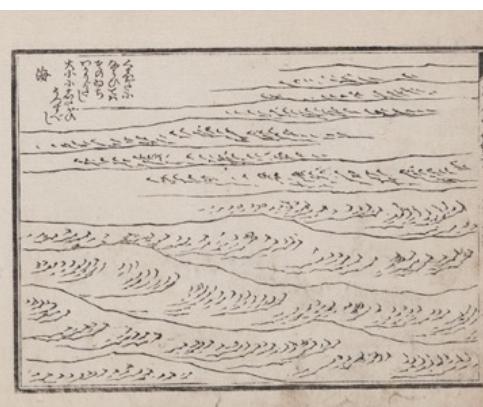
渦潮で有名な鳴門海峡の波の様子を描いた1ページ。

大小さまざまなかたちの渦波は、互いにぶつかり合い形を変えながらまた渦巻く。右ページには切り立った岩が描かれており、鋭い岩肌の様子を筆先を跳ねさせたような筆致で表現しているのが印象的だ。

無限に繰り返される波と波の衝突、そして形の変化を、北斎は映像を記録するように自身の目でとらえていたのだろう。

『今様櫛キン雛形』（今様櫛キセル雛形）は、櫛職人、キセル職人のために描かれたデザイン集だ。これらは、同作中にある水や波のデザインもモチーフにした櫛のデザインで、風を受けて揺れる波濤や、渦巻く波、打ち寄せる波など、さまざまな水、波の姿を収録している。

これだけ表情豊かな波を描くことができるは、北斎の水に対する鋭い観察眼があってこそ。

『今様櫛きん雛形』より
櫛のための波のデザイン『今様櫛きん雛形』より
櫛のデザインのための
波のイメージ

| 関連イベント |

※詳細は公式HP(<https://hokusai-kan.com/>) トップページの
イベント情報にてご確認ください。

○ ワークショップ：北斎館×SAKE ART LAB. 特別企画

ほろ酔いで 北斎気分！（仮）

長野県小布施町産の果物ジュースをはじめ、地元の日本酒やワインを楽しみながら、個々にキャンバスと絵の具を使って、北斎の代表作である「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」を描く創作ワークショップです。

開催日 : 2025年10月26日（日）

会 場 : 北斎館内を予定

時 間 : 14時～16時

募集人数 : 12人

参加資格 : 対象年齢10才以上。当日は身分証をお持ちください。

当日お酒を飲まれる方はお車でのご移動はおやめください。

参加費 : 一人3,500円（当日受付時に現金にてお支払いください）

募集期間 : 10月11日（土）10時より受付開始（定員に達し次第受付終了）

○ 学芸員によるギャラリートーク

開催日 : 1回目 10月19日（日）／ 2回目 11月9日（日）

上記日程以外にも随時開催される場合があります。

会 場 : 北斎館展覧会場内（集合場所：映像ホール前廊下）

時 間 : 14時より1時間程度

入館券をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。

| 開催概要 |

展覧会名 : なんという目だ！－北斎にはこう見える－

開催日 : 2025年10月11日（土）～12月7日（日）

会 場 : 北斎館（長野県上高井郡小布施町小布施485）

入館料 : 大人1200円／大学生・高校生500円／中学生以下300円

開館時間 : 9時～17時（最終入館16時半）

休館日 : 会期中は無休

お問い合わせ先

一般財団法人 北斎館（広報：飯塚）

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施485

Tel: 026-247-5206 Fax: 026-247-6188 Mail: pr@hokusai-kan.com



hokusai-kan.com

